

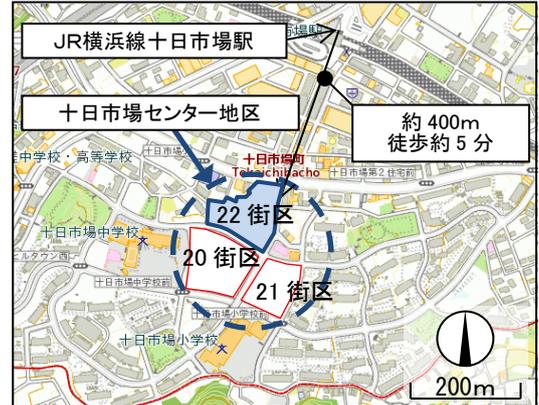
SDGs未来都市・横浜「持続可能な住宅地推進プロジェクト※（緑区十日市場町周辺地域）」

# まちに開かれた新たな集合住宅「グレースシア横浜十日市場」が完成 ～エリアマネジメントの活動財源に先駆的な仕組みを導入！～

緑区十日市場町周辺地域では、民間活力を導入し、周辺住宅地を含めた地域の課題解決を目指すため、十日市場センター地区（20、21、22街区）の市有地を活用してまちづくりを進めています。

このたび、22街区において、子育て世帯を支えることをテーマとした住宅「グレースシア横浜十日市場」が竣工しました。

今後、先行街区（20、21街区）等と連携したエリアマネジメントの取組を推進するとともに、新しい持続可能なまちな形を目指します。



令和5年3月16日（木）にメディアの皆さま向けの内覧会が開催されます。  
 詳細は別紙 相鉄不動産株式会社の記者発表資料をご確認ください。

## 1 「グレースシア横浜十日市場」の特徴

### (1) まちに開かれた「シェア共用部」

共用部は、子どもから大人まで、誰もが新しいことにチャレンジするきっかけとなる場所、様々な道具や素材が備わった工具箱のような空間です。これを「シェア共用部」として、居住者はもとより、地域の皆様の利用に供することにより、様々な交流を促し、活動の機会を広げます。

また、「シェア共用部」では、子どもの育ちを地域みんなでフォローし、まちと共に育ちあおうとする「まち保育」の考え方を取り入れながら活動を展開していきます。

### (2) エリアマネジメント賃貸住宅

当物件には、9戸の賃貸住宅を併設しています。賃貸料金の一部をエリアマネジメント組織の活動費用に充てることによって、持続可能な活動となるように担保しています。



グレースシア横浜十日市場



まちのラウンジ



芝生広場



まちのツールボックス東棟



まちの音楽室

裏面あり

**事業関係会社**

事業者：相鉄不動産株式会社、伊藤忠都市開発株式会社  
 設計者：株式会社東急設計コンサルタント  
 シェア共用部企画デザイン監修：株式会社オンデザインパートナーズ  
 施工：株式会社フジタ横浜支店

**対象地**

横浜市緑区十日市場町 1481 番 20 (JR 横浜線 十日市場駅から徒歩約 5 分)

**敷地概要**

開発事業面積：11,630.22 m<sup>2</sup>  
 延べ面積：22,647.91 m<sup>2</sup>  
 用途地域：第1種中高層住居専用地域、準住居地域

**建物概要**

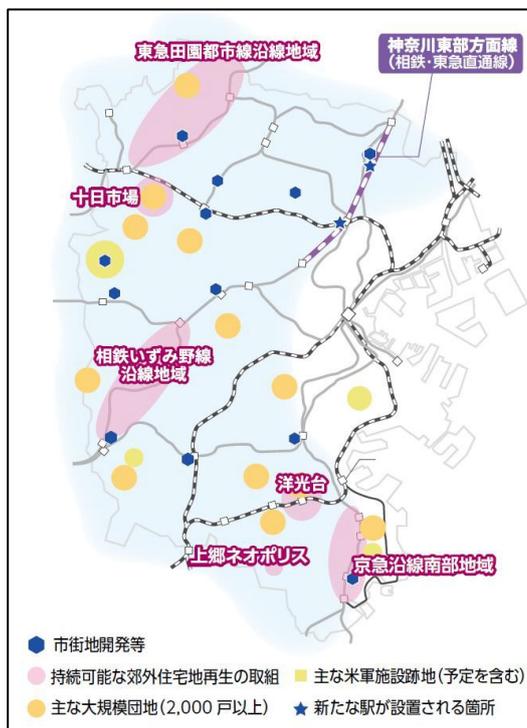
用途：共同住宅、小規模保育事業  
 住戸数：256 戸 (うち販売対象 247 戸、エリアマネジメント賃貸住宅 9 戸)  
 構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上 10 階地下 1 階  
 間取り：1R~4LDK  
 専有面積：28.11 m<sup>2</sup>~95.34 m<sup>2</sup>

**※ 持続可能な住宅地推進プロジェクト(SDGs未来都市)**

「SDGs未来都市」の実現に向け、少子高齢化、コミュニティの希薄化等、地域の課題を解決するため、持続可能な魅力あるまちづくりを推進しています。

次の推進地区において、地域住民や鉄道事業者、UR都市機構等と連携し、高齢化対応、子育て支援、多世代交流等の取組を進めるなど、住民参加型の事業等を実施しています。

推進地区	主な連携先
東急田園都市線沿線地域	東急(株)
相鉄いずみ野線沿線地域	相鉄ホールディングス(株)
緑区十日市場町周辺地域	【20・21 街区】 東急(株)、東急不動産(株)、NTT 都市開発(株)
	【22 街区】 相鉄不動産(株)、伊藤忠都市開発(株)
磯子区洋光台周辺地区	UR 都市機構



横浜市中期計画 2022-2025 より抜粋

**「SDGs未来都市・横浜」について**

**SDGs未来都市・横浜**



横浜市は平成 30 年 6 月に、SDGs の達成に向けて優れた取組を提案する都市「SDGs 未来都市」と、その中で特に先駆的な取組をする「自治体 SDG s モデル事業」に選定されました。

SDG s 未来都市・横浜を確実に実現し、横浜市の持続的かつ心豊かな成長に繋げていくための取組が緑区十日市場町周辺地域に求められます。



※本事業はSDG s の 17 のゴールのうち、主に上記のゴールとの関係を意識したものとしています。

**お問合せ先**

建築局住宅部住宅再生課担当課長

米満 東一郎

Tel 045-671-4458

2023年3月1日

## 十日市場センター地区22街区のまちづくり 「グレースシア横浜十日市場」が完成 シェア共用部を地域拠点として、持続可能なまちづくりへ

相鉄不動産株式会社  
伊藤忠都市開発株式会社

相鉄不動産(株) (本社・横浜市西区、社長・左藤 誠) と伊藤忠都市開発(株) (本社・東京都港区、社長・松 典男) の開発した分譲マンション「グレースシア横浜十日市場」が、十日市場駅 (横浜市緑区) 近くの「十日市場センター地区22街区」に完成。全256戸を契約完売しており、2023年3月下旬より入居を開始します。

「グレースシア横浜十日市場」では、マンションの共用部を「シェア共用部」として地域に開放し、「まちのツールボックスとまち保育」として継続的なエリアマネジメント活動を行います。

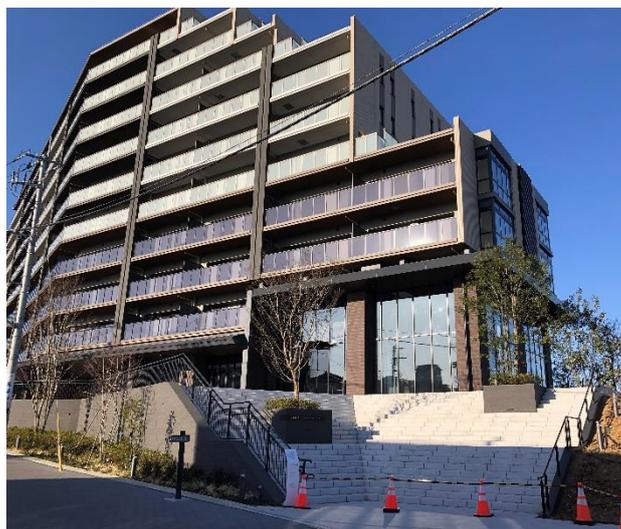
「まちのツールボックスとまち保育」は、SDGs未来都市・横浜「持続可能な住宅地推進プロジェクト (緑区十日市場町周辺地域)」における「十日市場センター地区22街区事業」に関し、中核となる「グレースシア横浜十日市場」のシェア共用部を活用したエリアマネジメントです。少子高齢化による地域コミュニティの衰退、子どもの居場所や子育て世帯を支える機会や拠点の不足といった、地域課題の解決を促し、持続可能な街づくりを促進します。また、分譲マンションに賃貸住宅を併設し、その賃料収入をエリアマネジメント活動の費用に充てることで継続性を担保しています。

今回のまちづくりのキーポイントとなる「シェア共用部」では、エリアマネジメント組織が管理・運営する「まちのツールボックス東棟」を中心にさまざまな活動や交流を行い、それを「まちのステージ」や「まちのテラス」で試したり、披露したりするなど活動の輪・場・機会を広げます。また、周辺の子育て支援に関連する活動を展開している施設や拠点とも連携し、プログラムを充実させていきます。5月下旬には、まちびらきイベントを開催予定です。

マンション住民だけでなく、大人も子どもも地域住民も、時間・空間・道具をシェアし、偶発的な出会いや活動が創造されていくことで、十日市場エリアの地域課題の解決を目指します。

詳細は別紙のとおりです。

※一部施設は、マンション住民限定となります。



グレースシア横浜十日市場 (イメージ)

2023年3月16日 (木) にメディアの皆さま向けの内覧会を開催します。

この資料は次の記者クラブにお届けしています。

○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会 ○神奈川県政記者クラブ ○横浜市政記者会 ○横浜経済記者クラブ

本件に関するお問い合わせ

相鉄グループ広報担当【相鉄ビジネスサービス(株)総務広報担当】山中・梅津・村田・小林

電話：045-319-2057 メール：kouhou@sotetsu-group.jp

## シェア共用部を活用したエリアマネジメント「まちのツールボックスとまち保育」概要

## 1. 概要

分譲マンション「グレースシア横浜十日市場」開発を契機とした郊外住宅地での持続可能なエリアマネジメントのモデルケースを構築します。マンション共用部を「シェア共用部」として、多様な活動やコミュニティ形成のためのツールが備わった道具箱のような空間として地域にひらき、子育て世代を中心とした「まち保育」※という考え方を取り入れた継続的なエリアマネジメント活動を計画しました。

※地域にひらかれた場や機会を提供し、身近な地域の多世代と交流をしながら、子どもの育ちを地域みんなでフォローし、まちと共に育ちあおうとする子育てのこと

## 2. 設置目的

子どもから大人まで、誰もが新しいことにチャレンジするきっかけとなる場所として、街の子どもや子育てを支援しながら、多様な人々の交流促進の拠点として設置します。

## 3. 内容

## ■まちのテラス、まちのステージ、沿道ゾーン、緑地ゾーン

イベントスペース（展示・出店・演奏など）として街の人々が活動を披露し、発信することが出来る空間

## ■まちのラウンジ【スタディエリア、ビューエリア、カフェエリア、スタンドエリア】

デスクワークや勉強、待ち合わせや休憩場所としてくつろげる開放された空間

## ■まちのツールボックス東棟

交流、歓談、趣味、くつろぎの場所として、ツールを使用しさまざまな活動ができる開放された空間

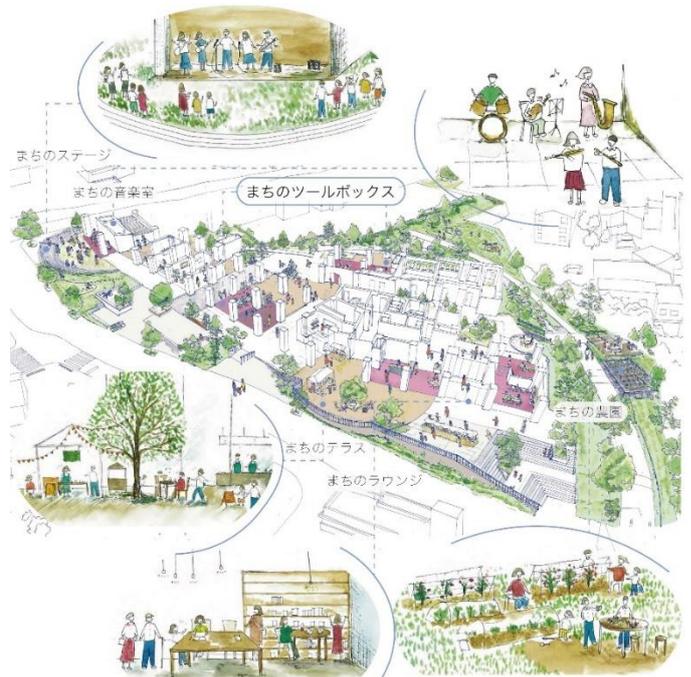
## ①キッチンエリア【食のキャビネット】

料理教室や食育、食事のシェアなどを想定した空間

## ②文化・DIYエリア

【文化、ものづくりのキャビネット】

本のコミュニティや読み聞かせ、工作や手芸などを想定した空間



「シェア共用部」の配置図



## 「グレースシア横浜十日市場」の詳細

### 1. 建物名

「グレースシア横浜十日市場」

### 2. 公式ウェブサイト(相鉄不動公式HP開発実績)

[https://www.sotetsufudosan.co.jp/dev\\_mansion/164/](https://www.sotetsufudosan.co.jp/dev_mansion/164/)

### 3. 事業関係会社

事業者：相鉄不動産(株)、伊藤忠都市開発(株)

設計者：(株)東急設計コンサルタント

シェア共用部企画デザイン監修：(株)オンデザインパートナーズ

エリアマネジメント組織運営補助：(株)HITOTOWA

施工：(株)フジタ 横浜支店

### 4. 所在地

横浜市緑区十日市場町1481番地20 (JR横浜線 十日市場駅より徒歩5分)

### 5. 敷地概要

開発事業面積：11,630.22㎡

延べ面積：22,647.91㎡

用途地域：第1種中高層住居専用地域、準住居地域

### 6. 建物概要

用途：共同住宅、小規模保育事業

住戸数：256戸 (内、販売対象247戸、エリアマネジメント賃貸住宅9戸)

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上10階地下1階

間取り：1R～4LDK

専有面積：28.11㎡～95.34㎡

### 7. スケジュール

2020年11月 開発工事に着手

2021年2月 建築工事に着手

2021年8月 モデルルームグランドオープン

2021年10月 エリアマネジメントプレ活動開始

2023年1月 建築工事完了

2023年3月24日 入居開始

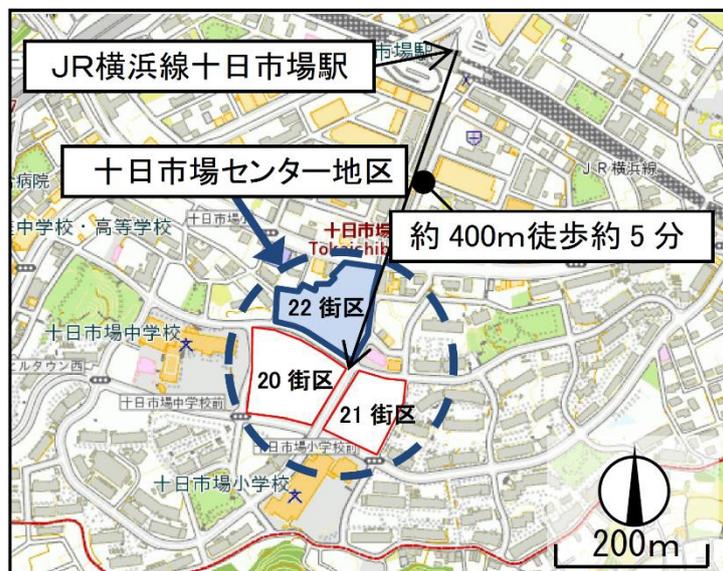
2023年3月 エリアマネジメント組織「(仮称)一般社団法人HIRAKU CITY横浜十日市場」組成

2023年5月27日 まちびらきイベント開催 (予定)

### 【参考】

グレースシアブランドについて

[https://www.sotetsufudosan.co.jp/gracia\\_bland/](https://www.sotetsufudosan.co.jp/gracia_bland/)



グレースシア横浜十日市場が位置する 22 街区

## 十日市場センター地区 22 街区域を公開します

誠にお手数ではございますが、ご取材をご希望の際は、「取材申込書」をご記入の上、  
3月13日(月) 12:00までにメール、またはFAXにてご返信をお願いします。

メール：kouhou@sotetsu-group.jp

FAX：045-319-8990

JR 横浜線 十日市場駅から、  
一本道を約5分

## ■内覧会スケジュール

日時：2023年3月16日(木)

10:30 集合場所にて受付開始

「サブエントランス」にお越しください。

10:50 ブリーフィング・移動

11:00 見学開始

11:55 終了(予定)

※見学終了後、担当者による質疑応答を予定しています。

対応(予定)

相鉄不動産(株) 分譲事業センター 係長 櫻井 大将



道なりに進み、広場を過ぎてその先にある  
「サブエントランス」で受付を行います。

貴社名

媒体名・番組名

お名前

電話

携帯(当日・緊急時の連絡先)

メールアドレス

ご来場人数 名

※新型コロナウイルスの感染防止の観点から、参加人数のご相談をさせていただく場合がございます。

撮影機材 スチール 台 / ムービー 台

※上記情報は、今回の取材と「相鉄グループの広報活動」に関する連絡以外の用途には使用いたしません。

※駐車場のご用意はございません。お車でご来場の際は近隣の駐車場をご利用ください。

※ご取材時には消毒液による手指消毒対応、マスクの着用をお願いいたします。

※受付時に検温を実施します。その際 37.5 度以上の発熱のある方のご取材をお断りいたします。

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、内覧会の日程変更や中止となる場合がございます。

お問い合わせ先

相鉄グループ広報担当【相鉄ビジネスサービス(株) 総務広報担当】山中・梅津・村田・小林

電話：045-319-2057 メール：kouhou@sotetsu-group.jp

当日のご連絡先：080-2122-1868 (小林)